

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立黒瀬高等学校	校長	慶徳 克二	生徒指導主事	藤本 倫考
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『進路講演会及び学校間連携事業合同生徒交流会への取り組み』

取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「自己肯定感・自己有用感」	1	「主体性・積極性」	3	「自己理解」	2

取組のねらい

講師を招聘し、2校の生徒が交流を深めながら、社会人としての自己の生き方在り方について考えるとともにPTAの研修機会とする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『自己肯定感・自己有用感』
<p>○黒瀬・豊田高校校長挨拶</p> <p>○PTA研修会兼進路講演会 演題 「あなたを輝かせる勇気のつくり方」 講師 株式会社上司の魔法代表 黒岩 禅 氏</p>  <p>○学校間連携事業合同生徒交流会 黒瀬・豊田高校生徒会長挨拶</p> <p>学校紹介 豊田高校「シーカヤック部の活動紹介」 ・パワーポイントを用いての紹介</p> <p>黒瀬高校「福祉科による手話歌」 ・1年生「LEMON」 ・2年生「未来へ」</p> 	<p>父からの虐待を受け、児童養護施設で育った生い立ちながらも、2度の店舗経営日本一に輝いた経験から、人のかかわりあいの中でどのように勇気を作っていくかという講演であった。恵まれない家庭環境の生徒も多くいる中で、将来に向けての夢や希望を持つ良いきっかけとなったように思う。</p> <p>海に面した立地ならではの部活動と福祉科のあるそれぞれの学校の特色を活かした活動報告であった。それぞれの日々の活動を紹介する機会は自校の活動の意義を再認識する機会となった。</p>

取組の成果と課題

生徒が将来、社会人として前向きに自己の生き方在り方について考えるために、日々の心構えを見直すためにも良い機会となった。PTAとの合同研修会とすることで保護者と共有できたことも収穫であった。生徒交流会では日々の活動の意義を再確認する意味では良い経験となったが、両校の生徒同士での話し合いなどの場面が設定できれば、より良い交流になると感じた。